令和３年度学校安全指導者講習会

「学校安全」の演習に関するワークシート

事例を読んで，各学校において考えられる対応について，次の２つの視点で記入してください。

　①行うべき対応

②対応に係る留意点

|  |
| --- |
| 本講習会における時間配分　・説明と個人作業　　　　　　　　　　　５分間・グループ協議　　　　　　　　　　　　10分間・グループ協議の内容（１グループのみ）３分間　・まとめ　　　　　　　　　　　　　　　２分間 |

|  |  |
| --- | --- |
| ①行うべき対応 | ②対応に係る留意点 |
|  |  |

事例演習

これまで，Ａ小学校は土砂災害警戒区域に立地する学校ではなかったが，令和３年５月に発表になった◆◆市のハザードマップによると，下記の図のように，１階の一部の教室が土砂災害警戒区域に当たると発表をされた。

Ａ校はこれまで，下記のような対応を行っていたが，新たに対応すべきこととして，どのようなことが考えられるだろうか。

校舎図

１Ｆ　　　　　　　山側

※土砂災害警戒区域（斜線の範囲内）

駐車場

玄関

廊　　　　下

事務室

保健室

倉庫

会議室

職員室

階段



グラウンド

体育倉庫

これまでのＡ小学校の対応等

　学校規模

　　児童数　　約500人，学級数15（特別支援学級３クラス）の中規模校

　　教職員数　約40人（非常勤職員を含む）

１　学校におけるハザードマップの状況

　　　　新たなハザードマップができるまでは土砂災害警戒区域に立地する学校ではなかった。

２　現在の危機管理マニュアルにおける避難場所

　　　・火災…グラウンド（校舎から離れた体育倉庫前）

　　　・地震…グラウンド中央

　　　・大雨等浸水想定時…４階多目的室

３　児童・教職員の状況

　　　・４月当初に，学校安全計画・危機管理マニュアルについて，研修を行っている。

　　　・毎月，各担当箇所の安全点検を実施しており，内容に不備があるときは，保健体育部が中心となり，対応策を考えている。

４　学校安全計画に関する取組について

　　　　「理科」，「社会科」，「特別活動」，「総合的な学習の時間」，「特別の教科道徳」，「外国語活動」で，防災教育を実施している。